



クローバー

山形市立第十小学校 学校だより 令和7年12月19日

それぞれの学びを思い思いの表現で～学習発表会～

今年度の学習発表会では、どの学年もこれまでの学習の成果をしっかりと表現し、心温まる発表を見せてくれました。ご来場いただいた保護者・地域の皆様に、心よりお礼申し上げます。子どもたちの姿を通し、それぞれの学年の成長を改めて感じる事ができた発表会でした。



1年生は、小学校に入りできるようになったことを全校児童に紹介しました。詩の暗唱や歌、ダンスなど、この1年間の成長が感じられる元気いっぱいの発表でした。「ぞうさんのぼうし」と「いるか」の詩の暗唱では、言葉の面白さや表現する楽しさがよく伝わり、会場を明るい雰囲気になりました。「怪獣のバラード」では気持ちのこもった歌声が響き、ダンス「私は最強」では体を大きく使った伸びやかな表現が印象的でした。大きく成長した1年生の姿に、これからの「できた！」の積み重ねがますます楽しみになりました。



2年生は、国語科や生活科で取り組んできた「おもちゃづくり」の学習を発表しました。実際におもちゃを作り、試行錯誤を重ねながら遊び方を工夫してきた成果を縦割り班の友達に紹介し、一緒に遊ぶなど交流を大切にしたい学びへとつなげることができました。他の学年の友達が楽しんで遊んでいる様子を見て、うれしそうな表情を浮かべていた2年生の姿がとても印象的でした。

3年生は、「十小地区のみんなとつながって えがおにしよう」をテーマに、地域の方々と協力した活動を紹介しました。アンケート調査から始まり、あいさつ運動やゴミ拾い、公民館文化祭での遊びコーナー企画、歴史調べ、公園の花植え、昔遊び交流会等、多様な活動を進めてきました。学校運営協議会の皆様との話し合いをきっかけに、地域とつながりながら学びを深めた姿はとても頼もしく、地域の未来を明るくする発表となりました。



4年生は、ダンスと合唱を組み合わせた、表現豊かな発表を行いました。息の合ったダンスでは、仲間と力を合わせる楽しさを伝え、合唱「チャレンジ!」や「赤いやねの家」では、それぞれの曲に込められた思いを丁寧に届けてくれました。初めて挑戦した二部合唱では、美しいハーモニーが会場に広がり、互いの声を聴き合いながら歌う姿に成長を感じました。前向きなエネルギーがあふれる発表となりました。



5年生は、総合的な学習の時間で学んできた「食品ロス問題」について発表しました。食品ロスを減らすために何ができるかを考え、地域や行政の方々とも連携しながらフードドライブ等にも取り組んできました。その活動は新聞でも取り上げられ、学びが地域や他校へと広がる貴重な体験となりました。一人ひとりが社会の中の自分を意識しながら取り組んだ、深い学びの発表でした。

6年生は、将来の自分について考えてきた総合的な学習の成果を発表しました。さまざまな業界の先輩の話を聞き、本やインターネットで調べ、修学旅行ではキッザニアで職業体験を行うなど、多方面から「なりたい自分」を探ってきました。学習発表会では、その成果をパワーポイント等にまとめ、下級生や保護者の前で堂々と発表しました。最高学年らしい落ち着いた発表でした。



楽しかったふれあいフェスタ♪

インフルエンザ流行により開催が心配された「ふれあいフェスタ」でしたが、12月10日に無事実施することができました。ふれあい委員会の企画によるこの行事は、1～6年生が遊びを通して交流を深める、年に一度の楽しいイベントです。校内の様々な場所にはクイズとスタンプが用意され、スタンプラリー形式で活動を楽しみました。「1年生は通称何学年?」「班の6年生の名前は?」「学校の住所は?」等互いのことや学校について改めて知ることができる問いが並び、子どもたちにとって良い学びと交流の機会となったようです。



学校保健委員会開催

12月10日には、子どもたちの健やかな成長と健康について協議する「学校保健委員会」を開催し、学校医の先生方とPTA役員の皆様にご参加いただきました。話し合いでは、県が掲げる「早寝・早起き・朝ごはん」による基本的生活リズムの大切さを確認しました。また、本校のアンケートでは、家庭でのSNS利用のルールが守れないお子さんが60%にのぼるという結果が出ており、まずは生活習慣をしっかり整えることが重要であるとの意見が共有されました。